

会議録

会議の名称	第1回 清須市総合計画審議会
開催日時	平成30年7月25日(水) 午前9時30分～11時40分
開催場所	清須市役所 南館3階 大会議室
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 委員紹介</li> <li>4 会長選出</li> <li>5 会長あいさつ</li> <li>6 諮問</li> <li>7 副会長選任</li> <li>8 清須市総合計画審議会の公開等について</li> <li>9 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 清須市第2次総合計画(後期基本計画)の策定の考え方について</li> <li>(2) 清須市第2次総合計画(後期基本計画)の策定のながれについて</li> <li>(3) 清須市第2次総合計画(後期基本計画)の策定に向けて</li> </ol> </li> <li>10 閉会</li> </ol>
会議資料	<p>会議次第、委員名簿、配席図</p> <p>[会議資料]</p> <p>資料1 清須市総合計画審議会設置条例・清須市総合計画審議会の公開等(案)</p> <p>資料2 清須市第2次総合計画(後期基本計画)の策定の考え方(案)</p> <p>資料3 清須市第2次総合計画(後期基本計画)の策定のながれ(案)</p> <p>参考資料1 清須市第2次総合計画 概要版</p> <p>参考資料2 清須市人口ビジョン 概要版</p> <p>参考資料3 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版</p>
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数	0人

出席委員	福田委員、水野委員、加藤委員、浅田委員、時田委員、河野委員、後藤委員、渡辺委員、野田委員（会長）、水谷委員（副会長）、山田委員、齋藤委員、前田委員
欠席委員	飯田委員、堀田委員
出席者（市）	永田市長、葛谷副市長、齋藤教育長、宮崎企画部長
事務局	〔企画部企画政策課〕 河口企画部次長兼課長、藏城課長補佐、服部課長補佐兼企画政策係長、石附主査
会議録署名委員	福田委員、水野委員
<p><b>1 開会</b> （河口企画部次長兼企画政策課長）</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから第1回 清須市総合計画審議会を開催いたします。皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は、企画部企画政策課長の河口と申します。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>はじめに、審議会の開催に当たりまして、永田市長からごあいさつを申し上げます。</p> <p><b>2 市長あいさつ</b> （永田市長）</p> <p>皆様、おはようございます。</p> <p>このところ、本当に厳しい暑さが続いておりますけれども、本日は大変お忙しい中ご出席をいただきました。誠にありがとうございます。</p> <p>また、委員の皆様方には、審議会委員へのご就任をお願いいたしましたところ、快くお引き受けをいただきまして、誠にありがとうございます。これから大変お世話になります。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>最近の暑さも異常なのですけれども、雨の降り方もちょっと異常でございまして、先般、特に西日本で1週間ほど雨がずっと降り続きまして、大変な大災害になってしまいました。清須は東海豪雨を経験いたしておりますので、他人事ではない、大変心配をいたしておりますけれども、一日も早い復旧を願っているところでございます。</p> <p>昨日、国土交通省の職員の方とお話をしていたのですけれども、今回の豪雨は愛知県にとってはラッキーだったということで、岐阜県も相当な被害に遭ったのですけれども、高気圧がもうちょっと東に行っていたら、完全に愛知県がやられていたということでございますので、これから雨期と言いますか、出水期に入りまして、緊張感を持って対応していかなくてはいけないと思っているところでございます。</p> <p>さて、今回、委員の皆様には調査審議をお願いいたしますのは、平成32年度を始期といたします清須市第2次総合計画の後期基本計画の策定でございまして、</p> <p>清須市では、これまでのまちづくりの成果を基盤として、平成28年12月に第2次</p>	

総合計画を策定いたしました。第2次総合計画では、第1次総合計画を継承しつつ、「安心・快適で元気な都市」ということで、新たなステージのまちづくりを進めていきたいと考えております。

今後、本市を取り巻く環境がより一層変化する中であって、このような大きな目標を実現するためには、市民の皆様とともに職員が一丸となって、本市の総合力を高めていく必要がございます。

また、今後を見据えますと、将来にわたって活力のあるまちを維持していくためには、人口の減少、そして少子高齢化への対応を引き続き進めていかなければなりません。幸いにして本市は、人口が少しずつではありますが増加をしております。

ちなみになのですけれども、最近よく会合ではお話をさせていただくのですが、平成29年の清須市の出生率が愛知県の市町村で第1位になりました。本当にうれしい限りでございます。これも、これまでの第1次総合計画、第2次総合計画に基づきまして、子育て支援対策の充実や、区画整理をはじめとした基盤整備を行ってきたことによって、若い世代の方が清須からあまり出ていかない、そして若い世代の方が清須に引っ越しをして、そして子どもさんを産んでいただいたという結果ではないかと思っているところでございます。

しかし、全国的にはもう人口減少傾向に入っておりますので、近いうちに清須も減っていくということで、第2次総合計画の人口推計では、平成32年から清須も人口が減っていくという、そんな推計も出ているわけでございますけれども、それを少しでも先延ばしをして、人口が減らないように努力をしていきたいと思っているところでございます。

このような状況の中で、市民の皆様の安全で安心な暮らしを確保するとともに、若い世代の方が子育ての希望を実現できる、子育てのしやすいまちづくりをさらに進めていくことが、これからの重要な政策課題と思っているところでございます。

後期の基本計画は、これらの課題への対応を含めまして、市政運営を力強く進めていくための指針となる内容に作り上げてまいりたいと考えております。

この総合計画審議会におきましては、委員の皆様方からそれぞれのお立場、視点で活発なご意見、ご議論をいただければと思っております。

今後のご審議をよろしくお願い申し上げます。開会のお礼とごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 委員紹介

(河口企画部次長兼企画政策課長)

本日は、第1回目の審議会でございますので、会議を進行する審議会の会長がまだ選出されておられません。会長の選出まで、事務局の方で進行をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

委員の皆様への委嘱状につきましては、本来お一人ずつお渡しすべきところですが

れども、時間の都合上、お手元に配付させていただいております。ご容赦ください。  
それでは、お手元の名簿にしたがいまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

#### 【委員紹介】

#### 4 会長選出

(河口企画部次長兼企画政策課長)

それでは次に、審議会会長の選出に移らせていただきます。

お手元の資料1の左側、清須市総合計画審議会設置条例の第4条第2項をご覧ください。

会長は委員の互選によってこれを定め、副会長は委員のうちから会長が選任するとなっております。

会長は委員の互選で定めるということでございますので、これにつきましてご意見がありましたら、お願いいたします。

(福田委員)

委員名簿11番の同志社大学 政策学部教授の野田遊先生にお願いしたいと思いますが、皆様いかがですか。

「異議なし」の声

(河口企画部次長兼企画政策課長)

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、野田委員に審議会の会長をお願いしたいと思います。

野田委員、会長の席を用意させていただきますので、移動の方をよろしくお願います。

#### 5 会長あいさつ

(河口企画部次長兼企画政策課長)

それでは、ここで野田会長から一言、ごあいさつをお願いしたいと思います。

(野田会長)

野田でございます。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

この後、色々ご議論をされていくということではあるのですが、清須市さんの場合は市民参加を積極的にやられていますし、さらには評価もきっちりやられているということで、他の計画である地方創生の計画もございしますので、それぞれが

有機的に結び付き合って、着実に進めていけるような計画にしていきたいと思えます。皆様、どうぞご協力よろしくお願い致します。

## 6 諮問

(河口企画部次長兼企画政策課長)

ありがとうございました。

それでは、会長が選出されましたので、ここで市長から、審議会への諮問に移りたいと思えます。永田市長、前の方へよろしくお願い致します。

(永田市長)

清須市総合計画審議会 会長 野田遊 様

清須市の総合的かつ計画的な行政の運営を図るための清須市第2次総合計画の後期基本計画の策定について、総合計画の進捗状況や社会情勢の変化等への適確な対応とともに、地方創生を推進する観点から、清須市総合計画審議会設置条例第2条の規定に基づき、調査審議を求めます。

よろしくお願い致します。

(河口企画部次長兼企画政策課長)

ありがとうございます。野田会長、永田市長、席にお戻りください。

なお、委員の皆様につきましては、諮問文の写しをお配りしたいと思えます。

また、永田市長におかれましては他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

それでは、ここからの会議の取り回しにつきましては、野田会長にお願いしたいと思えますので、よろしくお願い致します。

## 7 副会長選任

(野田会長)

そうしましたら、ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきたいと思えます。よろしくお願い致します。

まず一番最初に、副会長の選任ということで、清須市総合計画審議会の副会長の選任と、この総合計画審議会の公開等の決定をさせていただきたいと思えます。

一つ目の副会長の選任につきましては、先ほど冒頭でご紹介いただきました総合計画審議会設置条例の第4条第2項、皆様にお配りさせていただいている資料がございます。これの第4条第2項のところに、副会長は委員のうちから会長が選任するというようになっておりますので、私の方で指名させていただきたいと思えます。

副会長は水谷委員にお願いしたいと思えますが、皆様、よろしいでしょうか。

「異議なし」の声

(野田会長)

ありがとうございました。  
水谷委員、よろしくお願ひいたします。

## 8 清須市総合計画審議会の公開等（案）について

(野田会長)

次に、当審議会の公開等につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

(石附企画政策課主査)

企画政策課の石附と申します。  
本日の事務局説明を担当させていただきます。よろしくお願ひいたします。  
座って失礼いたします。

【資料1（右側）を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。  
事務局から総合計画審議会の公開等に関する案、資料1をご説明いただきました。  
どうでしょうか、皆様、何かご意見等がございましたら。よろしいですかね。  
会議の開催の7日前まで、それから傍聴を認める、会議録については委員名を含むものとして、署名委員お二人が毎回署名をしていただく。内容は1から10のとおりでございます。  
一般的な内容だと思いますので、特に問題はないかと思ひます。よろしいでしょうか。

「異議なし」の声

ありがとうございます。それでは、事務局の案のとおりで進めさせていただきたいと思ひます。

公開等の案の中でも出てきましたけれども、会議録署名委員の方々に、毎回事務局の方で作っていただいた会議録について、これで良いということをご署名いただく役回りがあるのですが、順番に回していただくということで、一番最初、本日の会議録の署名委員は座席順ということで、福田委員と水野委員にお願いしたいと思ひます。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

## 9 議事(1) 清須市第2次総合計画の策定の考え方について

(野田会長)

それでは、議事に入ってまいりたいと思います。

一番最初の議事ということで、後期基本計画の策定の考え方についてでございます。

まずは、事務局から説明をお願いいたします。

(石附企画政策課主査)

【資料2を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。資料2について、細かくご説明いただきました。

後期基本計画の検討を、この委員会で審議するのが役割であるということですね。この後期基本計画の頭には基本構想というものがありますが、これは所与のものとして、平成32年度から始まる5か年計画をこの委員会で検討するということです。それぞれポイントもございました。

基本的な策定の考え方ではあるのですが、皆様、この際何でも結構でございますので、ご意見もしくはご質問なりがありましたら、是非いただければと思います。どうでしょうか。どんな観点でも結構でございます。

よろしいですかね。

今日の一番最後に、皆様お一人ずつご発言をいただく時間はきっちり取りたいと思いますので、それ以外に何かということであれば、その都度ご意見をいただければと思います。

この委員会では、後期基本計画を対象として、さらにはこれまでの行政評価の結果の蓄積も前提としながら、なおかつ国の動向とか、環境の変化も踏まえて、さらには地方創生との連動も踏まえて、計画を作っていくという役割を担っているということです。

第2次総合計画の策定の考え方の案につきまして、事務局の案のとおりでよろしいでしょうか。

「異議なし」の声

ありがとうございます。

## 9 議事(2) 清須市第2次総合計画の策定のながれについて

(野田会長)

そうしましたら、次の議事の二つ目に入りたいと思います。清須市第2次総

合計画の策定のながれについて、資料3でございます。事務局の方からご説明をお願いいたします。

(石附企画政策課主査)

【資料3を説明】

(野田会長)

ありがとうございました。

資料3に基づきながら、第2次総合計画の策定のながれについてご説明いただきました。

きょうは7月25日で、グレーの網掛けをしていただいているところで、その次は来年の1月下旬になるわけですね。その間に、基礎調査で人口推計など行っていただくとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の意見聴取も行っていただくのですが、さらに重要なこととしまして、市民参画会議を水谷副会長の方で、合計3回進めていただくということでもあります。

最初に水谷副会長の方から、今回のこの市民参画会議につきまして、補足等ございましたらいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(水谷副会長)

ありがとうございます。

こちらの審議会の皆様は各団体の代表の皆様でいらっしゃいまして、各団体様の代表としてのご発言をしていただけるかと思えますけれども、生活に根ざした、一般市民の皆様はどう考えていらっしゃるのか、どういうことを清須市の未来に望まれるのか、そんなことを市民参画会議で密に議論していきたいと思えます。

ここでファシリテーターとか、ワークショップという言葉が出ていますが、ファシリテーターというのはコミュニケーションの潤滑油、議論を促進する役でございます。その第三者的、中立的な立場から、皆様の意見をしっかりお聞きして、発展させていただいて、それをまとめてこちらの審議会の皆様にお届けする、そんな役割かなと思っております。

ワークショップ形式はこういった少し形式張った会議ではなくて、小グループになって和気あいあいと議論する、そんなタイプの会議形式です。

3回開催するのですけれども、幅広い年代の方々にご参加いただいて、率直な意見交換ができればと思っております。

資料3をご覧くださいますと、本当に色々な方から意見を聞くようなながれになっておりますけれども、前回、第2次総合計画の前期基本計画の時ですね、その時には市政推進委員の方からもアンケートの形で意見を聞いております。普段町内会とか、各学区のところで非常にご活躍いただいておりますので、そういった方々のご意見も

また取り入れていただけると良いのではないかと考えております。

あとは、今後の清須市を語る後期基本計画ですので、是非若い世代にも、高校生なり大学生なり、そういったところに集中して意見を聞きに行くというようなこともあると良いなと考えております。以上です。

(野田会長)

ありがとうございました。

具体的に市民参画会議の中身について補足していただきました。若い方の意見であるとか、市政推進委員さんへのアンケートなども踏まえて、生活に根ざした意向を汲み取っていただくということでございます。

今のお話も含めて、この策定のながれにつきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、是非いただきたいと思っております。皆様、いかがでしょうか。

(山田委員)

大きな日程等のながれについては、こんな形であろうと思っております。

一つお聞きしたいのは、資料2の3番、「総合計画審議会における審議事項等」の後期基本計画の構成(案)において、「清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略2020〔仮称〕」の中に「地方創生に関する基本目標と数値目標」という、数値目標という表現が出てくるものですから、この数値目標というのは推進会議さんの方で作ってきたものが、第2回の審議会に上がってくるという形で理解すればよろしいでしょうか。

(野田会長)

今の点ですが、どうでしょうか。この総合計画審議会と並行して、総合計画審議会の方が上にあるのですが、その下にある、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議で検討される指標ですね。具体的にはKPIになるのですかね、もしくはそれに関連する指標、これについて、あちらの検討会議で決まったものが、こちらに提案されてくるという、そういうイメージでしょうか。

(石附企画政策課主査)

山田委員と野田会長のおっしゃるとおりでございまして、推進会議で意見をいただきながら市の案を作っていくまして、それをこの審議会でご審議いただきたいと考えております。

(山田委員)

引き続きお聞きするのですけれども、第2次総合計画の中で、例えば「子育て支援の充実」という施策の中に、施策の展開で戦略の部分が出てくるのですが、そういっ

た場合に、ここでの達成度指標の中の前期計画目標値が「基準値からの上昇」という表現で書かれていたりするのですね。

こういうものがより具体的な数値で目標値を設定するという意味なのか、そういうものもあるけれども、推進会議さんの方のものは横断的に、全ての項目の中に入り組んでいるのですが、個々の部分での数値目標が出されてくると考えてよろしいでしょうか。

(野田会長)

事務局、いかがでしょうか。

これまでの前期基本計画の達成度指標というのは、「基準値からの上昇」というような傾向に関わるところが多かったという事実はあるのですが、そこに具体的に数字が入るかどうかというところですね。

(石附企画政策課主査)

本日の参考資料1、第2次総合計画の前期基本計画の概要版ですけれども、こちらの基本計画の中におきましては、施策ごとに達成度指標を置いております。

例えば、「子育てしやすいまちをつくる」という政策の中で、「子育て支援の充実」という施策の中におきましては「公立保育園の利用者満足度」など、そういった達成度指標を設定しているところをごさいますて、これは分野別に整理したものの施策の効果を測っているところをごさいますて、山田委員がおっしゃるとおり、これもはっきりとした目標、ここまでの数字にしたいというものは具体的に定めていますが、それが難しいものについては方向性で定めているところをごさいます。

総合戦略における基本目標ですとか、KPIというところなのですけれども、資料2の総合計画と総合戦略の相関のところにありますとおり、総合戦略というのが分野横断的にいわゆる人口減少、少子高齢化という問題に対する、その観点における計画をごさいますて、先ほど申し上げた総合計画の施策の目標が分野別であるのに対しまして、例えば総合戦略では出生数の増加ですとか、もう少し分野横断的な人口減少に対する取組に係る指標を置いて、当然それに対する目標を定めて総合戦略としていきたいというところをごさいますて、そのあたりの関係性の整理というのは慎重にやっっていかなければいけないと認識しているところをごさいます。

(野田会長)

今のお話は大きく二つあると思ひまして、一つは総合計画に記載されているそれぞれの指標値の目標値ですね。「基準値から上昇」と書かれているものについては、基本的には基準値というのが直近の値で、直近の値から少しでも上がれば一定の水準が維持できているというものです。ここから何%上がれば良いかということを決めにくいものについては「基準値から上昇」ということで書いていただいているという、そ

ういうお話ですね。

もう一つの主眼である、分野横断的な地方創生の計画である総合戦略で決めていただいている色々な指標があると思うのですが、その中に子育てに関わる出生数が出てくるということですね。出生数というのは、基本的には個別の施策のデータというよりは、計画全体に関わる特に重要な指標であるということでございます。

それについては、今のお話でいけば具体的な目標値が出てくるという、そういうイメージで良いのでしょうか。

(石附企画政策課主査)

出生数につきましては、参考資料3を見ていただきますと、現行の総合戦略におきましても、基本目標の2番でございますが、こちらの「若い世代が子育てしやすいまちをつくる」という基本目標に対しまして、それを測定する数値目標として年間出生数の現状維持、700人以上を維持するという数値目標を置いているところでございまして、このような形にはなってくるのかなと考えております。

(野田会長)

現状維持ではあるのですが、一応はデータとして700人以上ということですね。

事実上、平成29年に県内1位だったということではあるのですが、計画としてこういう目標値があるということでございます。

山田委員、どうでしょうか。

(山田委員)

分かりました。ここでいう数値目標というのは、例えば参考資料3にある基本目標に書いてある目標値という、このことを意味しているということですね。

私は行政改革の方の委員もしているものですから、評価という話になってきますと、個別の施策の中に目標値があって、その目標値をどこまで達成できているのかということの評価していくとか、そういうことにどうしても注目してしまうものですから、具体的な数字がそちらに出るのかと思いました。ありがとうございました。内容は分かりました。

(野田会長)

ありがとうございました。

他にどうでしょうか。この際、どんな観点でも結構でございます。まだ結構時間がございます。いかがでしょうか、皆様。ちょっとしたことでも全然構いません。

今日ご意見をいただいて、次が1月になりますので、1月は後期基本計画の骨子案が出てくるのですが、もし今日皆様にご意見をいただければ、一定それを踏まえる形になるのではないかなという気はしますけれども、いかがでしょうか。

(福田委員)

参考資料についての質問でもよろしいでしょうか。

参考資料2の「2 人口の現状分析」中、「人口の動向分析」の一番下の黒い四角に、「市内の居住年数については、男女とも25～34歳では5年未満が5割超」と書いてありまして、その下の「3 住まい・子育て・結婚に関するアンケート調査結果」中、「定住に関する意向」のところで、「87.5%の市民が住みよいと評価し、76.7%の市民が今後も清須市に住み続けたいと評価」とあるのですが、このギャップというのは、これはどのように解釈したらよろしいのでしょうか。

(野田会長)

事務局の方、どうでしょうか。ギャップが一定あって、ここのギャップがどういう要因が考えるかということなのですからけれども、すぐに答えられる部分がありましたら、お願いできますでしょうか。

(石附企画政策課主査)

福田委員からご質問いただいた件について、はっきりとこういう理由でというのは、今手元に資料がないのですけれども、87.5%の市民の方が住みよいと評価していただいているけれども、今後住み続けたいと評価されている方が76.7%に落ちているというところで、名古屋との近接性ですとか、かなり利便性が高いというところで住みよいという評価はしていただいているとは思いますが、やはりもう少し子育てに対する支援や、他市町と比べた時にこういうところが足りないという部分があるのかなという気はしております、そのあたりは市民満足度調査などを通じて丁寧に分析していきたいと考えております。

(野田会長)

ありがとうございます。

すみません、これは次の議事で参考資料2、3が議論されるというわけでもないのでしょうか。今、議論してしまってもよろしいですか。

(石附企画政策課主査)

ここで議論していただいて大丈夫です。

(野田会長)

87.5%から10ポイントくらい、実際に住み続けたいという人が低くなっているということではあるのですけれども、これが高いのか、低いのかという評価はなかなか、他都市との比較もできない部分はあると思います。ただ、低くなっているということ

があるので、一般的に考えると、若い人たちは就職を清須市以外のところである可能性があったり、あるいは学生さんであれば大学も違うところ行くということもございます。

その部分を考慮しても、同じくらいの値まで持っていければ、さらに良いのではないかといいことですね。というのが、今日の冒頭に市長からございましたように、市外から移り住んで来て、ここで子どもを産んでくれるという、そういう傾向が見られるということですので、そういうところと相殺してみても、同じくらいの水準になるということが望ましいなというのは、私自身も思います。ただ、要因という部分はなかなか難しいところがあるのではないかなと思います。

他にどうでしょうか、皆様。

福田委員からいただいたような「人口ビジョン」や、もしくはもう一つの参考資料である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要についてでも結構でございます。いかがでしょうか。

(石附企画政策課主査)

すみません、補足でございますが、福田委員からご意見いただきました参考資料2の「住まい・子育て・結婚に関するアンケート調査結果」のところですが、こちらは平成27年の8月から9月に実施したアンケート調査の結果をまとめたものでございまして、無作為抽出した20歳代と30歳の市民2,000人を調査対象としたものでございます。清須市で暮らすことの魅力というところでの意見としましては、先ほども申し上げましたが「名古屋市に近いこと」が71.2%、「友人・家族がいること」が46.8%、「交通の利便性が高いこと」が38.2%などとなっております。清須市から転出するのはどのような理由が考えられるかというところでの意見としましては、「魅力的な店舗や飲食店がないから」が53.1%と一番高くなっております。次いで「名古屋市の方がイメージがよいから」が28%、「清須市は職場から遠いから」が23.2%、「交通の利便性がよくないから」が22.2%などという結果となっております。以上でございます。

(野田会長)

ありがとうございました。

様々な観点から見た場合の清須市の環境ということでございますが、対象は20歳代、30歳代ということですね。具体的に住み続けてくれるかどうかという部分で、非常に重要な世代にアンケートを取られているということで、その世代の方々が住み続けてくれるような政策を打っていくための現状認識としては、もうちょっと頑張った方がよいという、そういうデータにもなるのかなという気がします。福田委員、何かございますでしょうか。よろしいですかね。

すみません、私、参考資料3「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてもとい

う言い方をしたのですが、これは議事3の方で見ていただきたいと思います。ここでは参考資料2までを含む、資料3についてご議論をいただければと思います。いかがでしょうか。よろしいですかね。

そうしましたら、ちょっと時間は早いのですが、開始からおよそ1時間が経ちましたので、5分ほど休憩をさせていただいて、10時35分から再開するような形にしたいと思いますが、取り急ぎ総合計画の策定のながれについては、皆様ご了承いただいたということですのでよろしいでしょうか。

「異議なし」の声

ありがとうございました。

それでは、ここから5分間休憩に入りたいと思います。よろしく申し上げます。

【休憩】

## 9 議事(3) 清須市第2次総合計画（後期基本計画）の策定に向けて

（野田会長）

それでは再開したいと思います。残る議題は一つではあるのですが、議事の三つ目、後期基本計画の策定に向けてということで議論を進めたいと思います。

まずは、本日の審議会の議論をどんな形で進めていくのかということについて、事務局からご説明をお願いいたします。

（石附企画政策課主査）

先ほどの策定の考え方の中にございましたように、平成32年度から始まる後期基本計画の策定に当たりましては、総合計画の進捗状況や社会情勢の変化等への適確な対応とともに、地方創生の推進に向けた取組が必要であるということを考えておりまして、本日の会議では第2回の審議会に向けまして、後期基本計画の骨子案をまとめていくに当たって、各分野の施策における現状や課題、それを踏まえて、どのような姿を目指して取組を進めるべきか、また、そのために必要となる取組などといった観点から、委員の皆様にご審議をお願いしたいと思います。

なお、審議に当たりまして、「第2次総合計画 前期基本計画」、「人口ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要を参考資料としてお示しさせていただいておりますので、参考にいただければと思います。以上でございます。

（野田会長）

ありがとうございました。

先ほど参考資料に関わる話も含めて議論いただきましたけれども、これから後期基

本計画の骨子案をまとめて、来年 11 月には完成させるということですね。再来年からの後期基本計画を策定するというございます。

その策定に当たりまして、各分野の施策における現状とか課題などにつきまして、審議を深めていくということをございます、今日は第 1 回目の審議会でございますので、委員の皆様からお一人ずつ、皆様それぞれのお立場もあると思いますし、市全体のことも考えていただけたらと思いますので、日々感じていらっしゃる、本当に幅広い観点からご意見をいただきたいと思っています。

全員にご発言いただくということではあるのですが、比較的時間が余っていますので、1人4分くらいは十分あるかなと思います。次は1月ですので、思いの丈を色々、どんな観点でも結構でございますので、ご意見いただけたらと思います。

一番最初に水谷副会長からご発言いただいて、その次は、河野委員さんは 11 時までですので河野委員さんにご発言いただいて、あとは福田委員から順番に席順に回していただくという形にさせていただけたらと思います。

それでは、副会長よろしくお願ひします。

(水谷副会長)

水谷です。

私は、市民参加とか社会の合意形成ということを専門に、色々な政策や計画の中で皆様との対話の場を作っております。

その観点から申し上げますと、この清須市の第 2 次総合計画の、この審議会での議論というのは非常に難しい、難度の高いものだと思います。特に市政というと、清須市全体を見て、そして長期にわたって総合計画を考えますので、この市政を俯瞰するという視点、これはなかなか持つ機会がございませぬので、これはまず難しいことだと思います。

また、多様な分野、例えば子供会とか、義務教育とか、防災とか、ご自分の分野だけではなくて、色々な分野を見ていかななくてはいけない、これもまた難しいなと思っております。

さらに、今回は総合計画だけではなく、人口ビジョンとか、総合戦略という言葉も出ております。この関係もどうなっているのだろうと、私も一生懸命、理解をしようとしておりますが、これも複雑で非常に難しいなと感じております。

ただですね、難しい話ではあるのですが、この中で皆様が率直に感じる質問であるとか、ご意見というものを場に出していただくことがとても大事だと思っておりますので、どうか皆様お一人お一人、遠慮せずに言いたくなったら言うということ、場を作っていただけたらありがたいなと思っております。

私の役割はそういう雰囲気を作るところかなと思っておりますので、どうかリラックスして、ご遠慮なく、言いたくなったら言うということでご発言いただけたらうれしく思います。

同時に分かりやすい情報提供や、身近な論点というのも工夫してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(野田会長)

水谷副会長、どうもありがとうございました。続いて河野委員、お願ひいたします。

(河野委員)

河野です。とても緊張しています。難しいし、初めてこの場に座らせていただいて、正直半分は分かって半分は分からない、大変なところに来たと思っています。

私の意見としまして、今自分たちは「女性の会」として活躍してまして、その場では、こちらの冊子にもありますけれども、元気なまちというところで、私たちもできるところはというところで、平成 27 年度から体力づくりということに取り組んでいます。

これは会員だけではなく、幅広い一般の方も一緒になって元気になろうということ、それでその計画が 3 年過ぎまして、今度は体力づくりから心の健康も皆で目指そうじゃないかというところで、今事業に取り組んでいるところであります。

そして、そういったことを通じて、市民の方とつながりを持って、横のつながりを持って、何か少しでもお役に立てると言ったらオーバーな言い方ですけども、できたら良いのかなと考えて今活動しております。

すみません、ここの内容を把握できていなかったものですから、自分たちの立場を意見として述べさせていただきました。

(野田会長)

ありがとうございました。

そういったご意見は本当にいただきたい意見でございますので、市民の間での水平的な連携ということが、どうしても市だけではできませんので、是非色々なご意見をいただければなと思います。どうもありがとうございます。

それでは、福田委員、お願ひいたします。

(福田委員)

失礼いたします。

それではまず、参考資料 3 の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標の方からお話をさせていただきたいと思いますが、「基本目標① 地域資源とシビックプライドを核として活力あるまちをつくる」というところで、特に施策①の黒い四角の二つ目、一つ目も関係するのですが、清洲城、それから朝日遺跡、貝塚資料館といったような歴史遺産があるのですけれども、その PR といいいますか、アクセスもちょっと悪いなというような状況で、それから現在、県の管理下ですので開館日が非常に少

ないということで、木金土日のみの開館ということですので、集客も少ないかなと思っております。

そんなようなところで、せっかく良い財産がありますので、もうちょっとアクセスも、「施策③ 観光アクセスの充実」の黒い四角の三つ目に「清洲城と清洲貝殻山貝塚資料館を結ぶ遊歩道の整備に向けた検討」とありますが、是非こういうところを頑張ってください、皆様にPRをしていただけたらなと思っております。

それから、「施策② シビックプライドの醸成と人材の育成」ということですが、年代を問わず、小学生、中学生でも、歴史に興味を持っているお子さんは多いと思いますので、年齢を問わずに学生も参加しやすい、そういう研修会とか講座を設けていただく時に、時期とか講師さん、そういうことも考えていただけたらと思います。年代もシニア世代と若い世代、講師もシニア世代の講師さんと若い世代の講師さんと分けていただくとか、時期を別にしていただけて、参加しやすい、そういう状況を考えていただけると良いかなと思っております。

「施策③ 観光アクセスの充実」、「施策④ 観光情報発信力の強化」につきましては、先ほども少しお話しさせていただいて、大いに期待するところです。

それから、「基本目標② 若い世代が子育てしやすいまちをつくる」のところでは、就学前のお子さんに対しては、0歳児から結構色々なサービスとか、色々な教室とか、そういうものも行われております。

子育て、特に学校に行くような年齢になってからなのですが、放課後児童クラブ、それから放課後子ども教室、これらもずいぶん充実してきているのではないかなと思います。複数の観点で充実してきているのではないかなとは思いますが、他の方の観点から見たら「何を言ってるの」と言われるかもしれませんが、放課後子ども教室は、小学校が市内に8校ある中で、今年また1校増えて5校になるのですが、そういう点でも放課後子ども教室の充実も考えていただいておりますので、今後また増やせるようなところがあれば増やしていただくというようなことで、保護者の方は各学校にそういうものが欲しいというような希望もあるのですが、予算もあることで、できるところから頑張ってくださいというふうに思っております。

それから、「基本目標③ シニア世代が元気でアクティブに暮らせるまちをつくる」というところは、本当に私もそうだなということを思っております、「施策① シニア世代の社会参加の促進」ということで、ここには清須学講座とか、そういうことも書いてありますが、特に四角の1番目、2番目、これは大事にしていただきたいと思います。2番目の「学校支援地域本部へのシニア世代の参加促進」ですが、これは「施策② 市民協働の推進」にも関連すると思いますので、学校と市民を結び付けていただく、学校でこんなようなお手伝いをして欲しいとか、こんなところでシニア世代の方に頑張ってくださいとか、そういう要望を聞いていただいて、市民協働係の方でまたそれに対応していただく、そういうようなところで、特にシニア世代の社会参加のところは市民協働係の方でもご協力いただけて、施策の①と

②をうまくつなげていっていただけたら良いかなと思っております。

最後の「基本目標④ 安全・安心で快適に暮らせるまちをつくる」のところにつきましては、安心・安全ということで、本当に清須市は学校の施設とか、耐震化も本当に県内で1番くらいでしたし、各教室の扇風機とか、特別教室のエアコンなども本当に早くやっていただいていたので、今度は豊田市の事件もありましたので、それ以前からですが、市長さんの公約で各教室にクーラーを設置するというのを、今準備をしていただいているということで、本当に安全・安心で快適に暮らせる学校の施設、そういうものは本当によく考えていただいている、ありがたいなと思っております。

すみません、長くなりましたが、ありがとうございました。

(野田会長)

ありがとうございました。それでは、水野委員、お願いいたします。

(水野委員)

水野です。

私は農業委員会の方から来ていまして、農業委員会は毎月、定例的に会議をやっているのですが、そこに出てくる案件というのは、農地が段々なくなっていくという案件だけでございまして、こういう総合計画に鑑みた時に、やはり緑地帯というのは残すべきであろうということは十分承知しているのですが、これだけ都市近郊の清須市の位置的感覚を見ると、将来的にこういう農地として緑地が残って、特に最近、災害の観点で言われている水田における多面的機能、遊水的な機能が、果たして今後とも続けていけるのかなとかなり不安視していますし、毎月の会議の農地の減少を見ていると、全く私も熟知しているところです。

我々の同じ年代の世代に聞くと、農地というのは大体、農業振興法という法律で決まっているのですが、清須市の農地は農業振興、振興というのはちょっと間違っているのではないかと、農地管理法くらいの感覚で保全しているだけじゃないかなという感覚で、生産意欲というのはほとんどない、管理が主であるというのは本質だと思っております。

ただ、そのような時に、水田、畑も含めてですが、その機能を将来的にも確保していくのはかなり難しいのではないかなと思いますので、やはりこういう総合計画の中に次なる目標を定めて、方向づけをしていただければありがたいと思います。

近頃聞きますと、農地を宅地とか、工業用地にするには、農地法の中では青地から白地にということをよく言うのですが、議会の方にもかなり要望は出ているようで、やはりどんどん農地が減っていくという姿になっているので、それらの対策をしていただきたいと思います。

それから、今まで聞いてきた話の中で、長期的ビジョンはこの際ちょっと置いてと

いう話で進んでいるわけですがけれども、清須市の7万人くらいの人口で、長期ビジョンではなくても、近年のビジョンでも良いのですけれども、果たして本当に作り上げることができるのかなという不安はいたしております。

先ほど、市長さんからは出生率がかなり高いとお話があったのですけれども、人口が30万人くらいあれば、例えば保健所機能にしても、市の独自のやり方で、自由にできるという部分が大分違う、これは国策につながってくるものですから、やはり30万人くらいの都市の構想をある程度入れながら前に進まないで、本当の理想的なビジョンはできあがらないのではないかなと思っていますので、これは私の戯言、そんな簡単にできるかという話でございますので、そのあたりは前向きの姿勢も皆様方に考えていただいて、このビジョンを作り上げていっていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(野田会長)

ありがとうございます。それでは、加藤委員、お願いいたします。

(加藤委員)

加藤でございます。3点ほどお話ししたいと思います。

まず1点目は、参考資料3のところ、「4 進行管理」という項目がございます。ここで数値目標などをチェックしているのだと思うのですけれども、それがどこで行われているのか、いまだに私は分からないのです。管理されて、それがフィードバックされているのかどうか、これを十分にやらしてもらわないと、ここで皆様が色々と議論をしても、前に進んでいかないだろうと思います。

それから2点目は、シビックプライドを醸成するという問題ですけれども、私は観光協会の会長をやっておりますけれども、観光というのは、まちを愛して誇りに思っている、それをお客様に伝えて、その反応を糧にしてまちを良くしていく、あるいは自分を高める、そういう道具だと思っています。人を呼ぶことだけが目的ではないのです。自分たちを高めていかないといけない、そういうふうに思っています。

清洲城の入場者数が減っていると聞いておりますが、ネタの少ない清須市におきまして、リピート客を増やしていかないといけないのですけれども、実際にお客様が何を望んでいるのか、それをどうやっておもてなしするのかという、そういう心の問題と、それからもう一つは展示物の問題もございます。

お城の中に飾ってある展示物、当初から言っていたのですけれども、NHKのお古を持ってきて、それを何年も飾っておいて良いのでしょうか。そうすると、展示物を増やすためには、展示ケースや展示スペースを増やしていかないといけない、入れ替えていかないといけないと思います。今度、貝塚資料館ができますが、そちらの方へは弥富にある文化財センターから新しいものが持って来られると思いますけれども、それとの連携ということがこれからは必要になってきます。

遊歩道を整備するという事も聞いておりますけれども、なかなか難しい面もあると思います。私有地をどうやって買収して、遊歩道を造っていくのでしょうか。

私どもは時々学校へ、信長とはどんな者か、子どもに分かるような紙芝居などをやりに行きますけれども、非常に難しい面がございます。学校の中に入っていくというのは、校長先生の判断で決まりますので、入っていきたいのですけれども、なかなか行けないということがございます。以上が観光についての話です。

それから、官民協働についての話でございますけれども、総合戦略の施策の中に、余っているというとあれですけれども、市内に住んでいる高齢化した人たちに動いてもらおうという、その動いてもらうのが企業ならばお金で、エンジンをぶら下げれば動きますけれども、高齢化している人たちというのはお金では動きません。自分のやり甲斐で動いていくわけです。それをどうやって動くように持っていくのか、それが私もよく分からなくて、なかなかうまくいっていないのですけれども、いずれにしても市民協働、これをやっていかないことには、どんな分野でもこれが影響してくると思います。

西日本の豪雨で、ボランティアの方たちがたくさん行っておられるのですけれども、そういうことが、この清須においてもすぐに起こってくるだろうと思います。あれだけの雨がこの清須市で降ったら、もう大洪水です。犬山のため池が崩れてしまったら、このあたりは明治の時に大洪水になっていますけれども、旧の清洲庁舎、あそこが旧清洲町の中で一番高い場所になっていますけれども、あそこを遊ばせておくのはどうでしょうか。あそこに防災施設をもう一つ作って欲しいです。箱物を作ると、一般の市民からは色々と言われるだろうと思いますが、そういう拠点となる場所を大事に、頑丈に作って欲しいです。そこがないことには、市民の方たちを守ることができないと私は思っています。

ここに新庁舎を作りましたけれども、地上の部分は多分水浸しになるだろうと思います。そうすると2階からしか使えない。ここまでどうやって来ますかと言ったら、堤防沿いに来るしかないですね。新川の堤防がどれだけでもつかという問題もあると思いますけれども、そういった第2の防災拠点、それも一つ考慮しておいて欲しいと思います。

今回の総合戦略とは大分違ったことを話してはいますが、今思っていることはそんなところでございます。

(野田会長)

ありがとうございました。それでは、浅田委員、お願いいたします。

(浅田委員)

浅田です。

正直、こういうものを見ていても難しい言葉ばかりで、「うーん」というのが、多

分私たち世代だと思うのですね。見ていても、ちょっとボーッとしてくるところもあります。

多分この会議は、大人が、大人のためにやっている会議だと思うのですね。

私たち「子ども会連絡協議会」というのは、子ども中心ですので、子ども目線でもう少し取り込んでもらいたいなと思います。大人が、大人のための計画を練って、大人のために実行している、それを家で親が子どもに、こうだよ、ああだよと言っても子どもは分かりませんよね。

子ども世代にとって、ちゃんと住みやすいところだなとか、ずっとここに住んでいたいなと思うようにしていかなければ、人口流出防止とか、定住化とか、文面に起こしても、実際にしてもらえないと思うのですね。正直、こういうところに来てみえる皆様は偉い方たちですので、色々な知識もお持ちで、全然分かるのでしょけれども、私たちママ世代は難しいと感じても、不満があっても、「こういうことを市の方に言っても通らないよね」とか、「こういう不満があってもどこに出せばいいの」ということで、色々な不満や、住みにくいなと思うことも口をつぐんでしまうのですよね。

ですので、そういうのが上に上がってこない。その上がってこない状態で会議を開いても、「ふーん」ということになります。実際にこういう会議をしましたと広報に載せてあっても、「ふーん、そうなの」とちらっと見るだけで、また上の人たちの会議なのだ、自分たちは関係ないのだという、そんな感じでしか見ていないのですね。

うまく言えないのですけれども、もっと子ども目線の、大人目線の会議でも、子どもが住みよいまちづくりもしてもらいたいなと思います。以上です。

(野田会長)

ありがとうございました。それでは、時田委員、お願いいたします。

(時田委員)

時田でございます。

今日はこの総合計画についての意見をいただきたいということですが、一般的なことに対して意見を言うということは、なかなか幅があって言えないというのが実情だと思っております。

また、施策についても、市の担当部署の方で、それぞれ考えられたものが上がって総合計画ができていると思うのですね。その中で、私は社会福祉協議会の代表として来ているわけで、その部分で少し現状的にお話をさせていただくということしかできないのかなというふうに思っております。

参考資料3の総合戦略の中で、地域包括ケアシステムの構築ということがあがっております。これは社会福祉協議会の方で、市から受託を受けて地域包括支援センターというものを運営しているわけですね。その中で、ケアシステムを作ろうという形で、医療、介護、生活支援などに関する各地域のものについて、ケアシステムを構築

して、住みやすいまちづくり、健康に留意するという意味でシステムを作っていくわけでございます。その中でも今、医療について何かあれば病院を紹介する、介護が必要な場合、介護施設に入所する場合には介護施設を案内する、それ以外でも生活支援、困っている方についてどのような支援ができるのかということで、相談を受けて援助をしていくというような内容をシステム化していくというところでございます。

また、国の方では、介護についても在宅医療というような話がありまして、在宅についても、2市1町でもって医師会の方に委託をするというような内容で、今現在、進めているところでございます。

そしてもう一つ、市民協働の推進ということがあるのですけれども、これについても、社会福祉協議会の方に福祉ボランティア団体が登録してあります。その福祉ボランティア団体の方が、市に対して、自分たちの活動がどのように輪を広げられて、提供できるかという内容でもって、今は市の方と協議、調整を行っている段階でございます。できればボランティアの方が、市の方に自分たちの活動を報告できるとか、広げることができると思いいかなと想っているところでございます。

最後に、広く全部を含めた福祉の充実という形を設けるということで、社会福祉協議会の方でも地域福祉計画というものを作っておきまして、平成30年度、今年度で現計画が終わりますので、また次の計画を作りますという話ですけれども、市の方でも、地域福祉計画を策定する中で、社協の地域福祉計画と一本化した計画書を作っていただきたいということで、市の方をお願いをしているわけですけれども、全体の福祉を充実する上においても、地域の福祉計画が策定できれば、地域でそれぞれ助け合って、支え合えるまちづくりが推進できるのではないかなと想っておりますので、そこは市の方にこれからも要望していきたいと思っております。以上でございます。

(野田会長)

ありがとうございました。続きまして、後藤委員、お願いいたします。

(後藤委員)

体育協会の後藤と申します。私は体育協会の会長ということで参りましたので、スポーツに関連することで、ちょっとお話しさせていただきたいと思っております。

合併してから十数年経っているのですが、市民体育祭というものが清須市内で行われているのですけれども、合併して以来、いまだに旧4町内で独立して別々に行われています。私だけが思っているのかどうか分かりませんが、清須市全体としてできるような体育祭、清須市全体の体育祭というものに発展していけると良いなと思っております。ですが、いつもスポーツ課さんと話をしていると、一堂に集まるような会場がないよということになるので、私たちの希望としては総合運動場とか、総合体育館とか、そういったものを計画の端で良いので挙げておいていただくと、体育協会の会員に限らず、これから我々の後輩、私はもう現役の選手としての寿命は終わったかなと思

っていますけれども、若い後輩とか、これから将来ある子どもたちのために、スポーツを通じた健全育成ということで貢献できるのではないかなと思います。

是非とも総合運動施設というようなものを、清須市の将来のビジョンとして挙げていただけると良いなと思って今日は参りました。ここまでの話は、体育協会でも是非言ってきて欲しいと言われてきたところでございます。

それから、個人的に、私は建築設計の仕事をしておりまして、資料2の3番の中に、「後期基本計画の構成（案）」とありまして、明朝体ではあるのですが、「土地利用方針」ということが書いてあるのですが、何でこの話をするのかというと、私もちょうど、清須で事業を起こしたいというお客様がみえて、工場を建てられるような土地を探してくれと言われてたのですが、調整区域しかないよということで、色々走り回った中、お隣の市では「企業立地戦略ビジョン」というようなものを掲げて、この地域だったら優先的にそういうものを誘致しますよというような計画を持っておみえになって、向こうの場合、向こうから企業さんの方へ訪問されて、どういうことをやりたいのかというようなことを言われます。

私も清須出身ですので、清須の庁舎の方へ来て、「どこか良いところありますか」と相談はしたのですが、なかなかないよというようなことだったので、そういった、未来に向けて優秀な企業を誘致するという、すぐに潰れてしまうような企業とか、公害をもたらすような企業とか、そんなものを誘致するのではなくて、行政自らが選別に走って、誘導していただけるような、そういう土地利用を計画として考えていただけると、これからもっと発展するのではないのでしょうか。

人口が増えるのも良いのですが、企業が入って税収が増えた方が、職場の確保とか、そういった意味では貢献できるのではないかなと思います。これは全く個人的な意見で申し訳ないですが、以上でございます。

(野田会長)

ありがとうございました。続いて、渡辺委員、お願いします。

(渡辺委員)

「清須市手をつなぐ親の会」という、障害を持った子どもさんの親の会の会長をしております、渡辺と申します。よろしくお願いいいたします。

障害の部門はなかなか難しいとは思うのですね。前期の基本計画の中でもちょっとしか書いていなくて、一部門ですので、仕方がない部分もあるのかなとも思います。

昨年度は、障害者の福祉計画の策定ということで、社会福祉課さんにお世話になりながら、計画の策定委員として協力させていただきました。

その中で、生活支援拠点を3年の間に整備するということが策定していただきまして、本当に私といたしましても、親が高齢になっていく、子どもも段々と年を取っていく、これを目の当たりに見ていると、どうしていくのだろう、この先どうなってい

くのだろうという不安が残り、子どもが生まれてからずっと卒業がないわけですね。多分、自分の方が先に逝ってしまうのだろうという中で、子どもの将来のことを考えるというのは、本当に会員さんの中でもすごく多くて、入所施設というのはできていないと思いますので、こうなるとグループホームしかないのかなとか、兄弟に託すというのもちょっと負担がかかり過ぎるかなというのもあって、やはりグループホームの建設の方を進めていっていただきたいというのが、会員さんの間でも、最近の話題はそんなことがすごく挙がってきております。

2市1町でという計画もあるということなので、是非とも実現に向けて進んでいってもらいたいなと思います。

こういうものが本当は清須市にあると、人口減少とか、先ほどから色々ある中で、名古屋市のグループホームに最近入られた方もあるし、それから「青い鳥」の前にあるグループホームに入られる方もありまして、どうしても清須市から出ていかななくてはならなくなってしまうという、そういうことで、住み慣れた、小さい頃からいる清須市の中で住んでいきたいなということが、本当の希望であります。

いくつかあって申し訳ないのですが、自閉症という、ちょっと理解が難しい障害の方が最近はすごく多くなってきていますので、支援教育ということに力を入れていただきたいと思っております。

幼稚園の間に、多少なり分かるということもあるかもしれませんが、段々と成長するにしたがって、その差が段々と出てくるということをよく聞くのですね。学習の面で遅れがないと、それなりに気がついていかないということになってしまうので、早期発見というのは、幼稚園の時代、学校の低学年の場合に気付いていただきたいということで、支援教育の充実とか、それから普通の子どもさんにも、教育の現場としてこういう障害なのだよということをすごく理解していただかないと、「この子は変だな」と思われて、いじめに遭っても困りますし、そういうことをしていただきたいなと思っております。私の子どもを連れて、孫を連れて遊びに行ったら、「この子はどうしてしゃべらないの」と普通の子どもさんが聞いてくるのですけれども、私も説明の仕方に困ってしまったこともあって、普通の子どもさんに理解していただく、福祉教室というのでしょうか、そういうことをしっかりとしていただきたいというのが、私の個人的な希望ではあります。

それから、障害の軽い方というのは年金がほとんどないという状態で、親はいつまでも働かなければいけないのかなという感じで、障害があると収入も知れたものですので、生活面が続いていかないのです。ほんのちょっとしたお小遣いくらいにしかなくなっていかないと思いますので、後々は生活保護があるということも聞いてはいますが、そういう簡単な問題ではないので、何かそれなりに、少し援助があると良いのかなと思います。多分国では無理なので、市の方ではないかと私は思っております。

それから、若いお母さんたちの希望として、障害者スポーツをもう少しやって欲しいということがありました。普通の方のスポーツ教育というか、スポーツはすごく多

いのですけれども、その中に障害の方が入っていくというのは、すごく難しい問題があって、障害者で何かできたら良いのではないかということで、何かやれませんかということを社会福祉課にお願いにあがったらしいのですけれども、知的な問題もありますので、頭を使う問題というのは難しいのかなと思ったりもします。

この前、アルコで愛知県のスポーツ大会があって、卓球と水泳があったのですけれども、卓球なんかは車椅子の方、片手の方でも、本当に上手にやってみえて、どうしても球を取りに行くことができないということで、そこにボランティアの方がちゃんとついていて、球を拾ってお渡しして、またゲームが始まっていくということ、ずっと私も上から見ていたのですけれども、これは良いな、こんなことができたら良いなということで、どうしても年々太っていくのが気にかかるところで、運動不足ではないかなとすごく感じておりますので、障害のある方もスポーツができると良いなと思っています。

時間はまだよろしいでしょうか。

(野田会長)

大分時間がたちましたが、結構ですよ。結構ですが、手短にお願いいたします。

(渡辺委員)

あとは成年後見制度、これは制度の問題、国が関わっていることですので、こちらでどうこう言うことではないかもしれませんが、使い方がもう少し何とかならないのかなと、使ってみえる方の愚痴を聞くこともありますので、もうちょっと良い方法はないのかなとか思ったりしております。

また、西日本の方で豪雨がありました。災害時支援ということで、防災の方でも避難行動要支援者名簿、この仕組みをしっかりと作って、誘導などをしていただきたいなと思っております。これは、こちらの方から登録をしないと台帳に載っていかないということもあって、それが皆様のところにもあまり行き渡っていないのかもしれないので、そういうことはもう少しPRしていただくと良いと思います。突然災害が起こったりすると、どうしたら良いのか分からないということで、東海豪雨の時に、水の中で立っていたという女の子もいましたので、そのあたりのことを聞くとちょっとぐっときますので、災害の方のことも考えていただきたいと思います。

それから、アートを生かす工夫というのでしょうか、清須市でも、福祉ガイドに障害の方が描いた絵が載っていたりということもあるのですが、愛知県の方では、色々なグッズに絵を入れたりして、色々な活用をしているようですので、そちらの方も少ししていただけたら良いのかなと思います。

すみません、ちょっと私の愚痴になってしまいましたが、聞いていただけてうれしいです。ありがとうございます。

(野田会長)

ありがとうございました。それでは、山田委員、お願いいたします。

(山田委員)

山田でございます。

行政改革推進委員会に出席しておりまして、第2次総合計画の策定にも携わらせていただきました。ここで前期の3年を踏まえて、後期5年の新たな基本計画を立てていくというような形になるかと思うのですが、資料3の第2回審議会の下の方に、「前期基本計画の検証・課題整理」とありますが、これをやらないことには何もできないので、この検証と課題整理について、しっかり取り組んでいただきたいというのが一つです。

その中で、前回行われた行政改革推進委員会でも、個別の評価について色々お話をさせていただいたところで、子育てのしやすいまちづくり、子育て支援の充実というような案件で、幾つか具体的な計画を進めていただいたことによって、非常に皆様の満足度も高まって、充実してきているということを感じています。

若い世代の方が流入してきて、その方たちに対応できる状況が整いつつあるという状況に、今はあるのだと思います。先ほど、子ども会連絡協議会の浅田さんからは、なかなかまだ子育て世代には向いてもらっていないのだというご意見もありましたので、よりしっかり充実した形で進めていくことが、将来的に清須市を充実させていくという方向性に向かうのではないのでしょうか。

これは基本計画なものですから、総合計画の本を見ますと、「施策の展開」というところで1行、2行で書かれていることがほとんどです。これは計画ですので、この下に実施計画というものが個別にあって、より具体的に進められているかと思えます。行政改革の方でも、その一部については検証して、これはちょっと考え方がおかしいのではないかとか、方向性が違うのではないかとか、もっと違った側面できちんと評価しないのかというようなことをご意見させていただいております。

行政の方でも、一生懸命取り組んでいただいているかとは思いますが、やはりその形が皆様になかなか伝わっていないというのが事実かと思えますので、次の基本計画を策定するに当たっても、ただか1行の文ではなくて、もう少し具体的なものをしっかり出していただければ、それを基にすれば、当然実施計画はさらにしっかりしたものを作らざるを得ないと思うのですね。そういった形のもを行政さんの方から上げてきていただくと、非常にありがたいと思います。

あと一つは、各公共的団体の方には補助金というものが支出されておりまして、出していますよ、出しますよという形の計画がほぼ全体的なことで、何を目標にして出しているのか、どこからどこまでの範囲をその団体さんをお願いしてやってもらっているのか、そういったことをしっかりとやっていただきたい。前回までのながれでお金を出されていることが非常に多いように思われますので、これは効率化という面で

はございません。その団体に何を頼んでいるのかということをはっきりさせていただかないと、基本計画では、そういった団体にお金を出すことで、大きな目標を達成してもらおうようにしていますよというような表現にしかになっていないものですから、そこをよりしっかり、具体的な形で、実施計画が立てられるような形で基本計画を作っていたいただきたいと思います。

あと一つ、市街地整備等ということで、区画整理事業を非常に多くやってみえます。駅前、名鉄の駅前もJRの駅前も、区画整理に入ったように思っております。そうすると将来的には、やはりそこに住宅も建つでしょうし、若い世代の方が流入するかと思えます。その時に、ただやって来たからということで、後手で何かをするのではなくて、それに向かって既に動き始めているということ、しっかりやっていただきたい、しっかり書いていただきたい、そういうことですね。

それによって、企業さんはそこにメリットがある、チャンスがあるということで、店舗を出すとか、流入してくると思えます。新しいお店ができたからといって、そこにわざわざ隣に、自分の家を作りに行く方は少ないかと思えますので、逆に人が集まることによって店舗ができる、そこに事業のチャンスがあるのだったら流入してくる。その流入してくるのをあらかじめ予想して、市としてはこういう政策を提示していますというようななぐれを、計画の中で作っていただければありがたいと思えます。以上です。

(野田会長)

ありがとうございました。それでは、齋藤委員、お願いいたします。

(齋藤委員)

齋藤です。

全体的に申し上げますと、清須市にはせっかく朝日遺跡、それから清洲城があります。信長の天下取りの起点となった清洲城を基にした、朝日遺跡と清洲城を結ぶ何か、それを目玉にして人を呼ぶような施設というのでしょうか、色々愛知県の方でも考えていただいておりますが、「観光清須」として、これからのビジョンを打ち立てていただいて、それにお手伝いができたら良いなと思っております。

それから、専門の方ですけれども、防災に関して2点ばかりございます。

まず1点目は、清須市自体が大きな一級河川、庄内川、新川、五条川という三つの川に囲まれたまちなのです。「水と歴史に織りなされた」、その歴史を織りなしてきたものが、時として凶器というのでしょうか、18年前の東海豪雨のような、すごい災害になるおそれがあります。やはりこれからも、治水対策というのは忘れてはならないと思っております。

その治水対策について、消防でも色々なことをやっておりますが、なかなか自然の脅威というものにはかえません。災害が起きた場合に、いかに復興に向けて立ち上

がれるかという、そういうまちづくりの視点を考えていきたいと思っております。

それから、その三つの大きな河川、歴史を織りなしてきた河川と、これから将来的にもうまくつき合えるようなまちにしていきたいと思えます。

2点目ですけれども、第1次総合計画から委員として携わってきましたが、第2次の前期計画の時に、空き家対策ということをお願いしたのですけれども、毎年、「尾張西枇杷島まつり」というものがありまして、具体的な例を申し上げますと、二ツ杵の駅の近くに、本当に壊れかけの家が1年半くらい前まではあったのです。祭り自体の見学者が増えてきてまして、そこを歩いて美濃路へ行くわけなのですけれども、いつ壊れるか、瓦が落ちてくるかといつも心配しておりましたが、1年前、前回からはきれいに駐車場にさせていただいて、本当に空き家対策というのが、やっと何年もかかって、一つずつ解決していつているなどは思いますが、まだまだ空き家というのは清須市内にたくさんあります。防災の面からでも、色々な災害を防ぐ面においても、これからも一つのビジョンとしてやっていきたいと思えます。

以上のことですけれども、やはり防災の面からでも、今は近所付き合いがものすごく少なくなってきました。昔は隣組といって、隣のことを何でも知って、隣組で行動していたのですが、今の世知辛い世の中というのでしょうか、隣に誰が住んでみえるかも分からないような時代になってきました。

これからは、自主防災を中心として、色々な災害に対して、色々な訓練を、時間を決めずに、これからも消防の方もやっていきたいと思えます。これから何年間も、子どものために、清須市が安心・安全なまちであるように考えていきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

(野田会長)

ありがとうございました。それでは、最後に前田委員、お願ひします。

(前田委員)

公共交通会議の前田でございます。最後のトリになりました。待っている時間の方が、お一人ずつ委員さんが発言された後、今度自分は何をしゃべろうかなということで、精神的にまいるのがラストでございます。

そういった意味で、今後、平成32年度以降の計画の策定に向けてということで、参考資料3の基本目標①の「施策③ 観光アクセスの充実」の中でも、「あしがるバス」の施策があって、そして基本目標③の中でも、ご老人方が自ら進んで行動するというので、確かに「あしがるバス」もその一助になるかなということで、公共交通対策は大変重要なものと思っております。

そして最後に、基本目標④の「施策④ 公共交通の充実」、今よりももっと「あしがるバス」の認知度を高くしていきたいというのが、公共交通会議の一つの目標でもございますし、既設の市内の鉄道網、これも名古屋へ出るには本当にすばらしいとこ

ろですけれども、合併で市が大きくなりましたことから、少し不便になっているのではないかなというので、この交通網の充実というのは大変重要ではないかなと思っております。

次の「施策⑤ 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進」でも、市民としては、市内が広がったことで、市内での移動の手段として公共交通機関というものが大変必要ではないかと思っております。

そういう中で、私が少しメモしてきたことは、日々目に止まります「あしがるバス」の運行事業に関わり、皆様ご承知のように、この事業そのものは多少事業費がかかりますが、今言いましたように、評価される事業の部類に入ると思います。市内の公共交通事業の充実は、大変重要でございます。

そして、市民目線での福祉、日常生活等の手助けとしたり、広く外出する機会を与えたり、また、まち全体を明るくするのも、交通機関の一つとして大変重要でございますので、どうか市の方としても、施策、事業の一つとして大変重要であるということ、認識していただきたいと思っております。

先ほど言いましたように、清須市は合併して今の状況でございます。ご存じのように、各地域から都心、名古屋の方に出るには大変に都合の良いまちでございます。そういった中で、市内の移動の交通利便に関しては、少し利便さを欠いているということに気がつきます。この補完に当たる「あしがるバス」の運行は、これからも大変重要であるという認識で、そのような感じで、公共交通会議があるたびに思うのが私でございます。以上でございます。

(野田会長)

ありがとうございました。

皆様から色々なご意見をいただきました。それをうまくまとめることはできないのですけれども、皆様からいただいたご意見を、三つの観点というふうに整理してみました。

一つ目は、これは整理ということにはなっていないのですが、個別のアイディアですね。議事録をきちんと取っていただいているかと思っておりますので、それを各課の方にお伝えいただくということでお願いできればと思います。

本当に色々な観点をいただきました。観光資源をいかにアクセスさせるのかとか、展示の話とか、企業立地の促進であるとか、土地利用、農業の振興ではなくて管理とか、あるいは市全体の取組、これも面白いですね。旧町でやっている体育祭を市全体でやるとか、それから福祉の教室という観点でやったらどうかとか、今お伝えいただいた公共交通に関わる話もそうだったと思います。様々な個別のアイディアについていただいたというのが一つ目です。

二つ目は、協働に関する話が結構たくさん出たかなと思います。今やほぼ全ての分

野で、協働なくして、市の施策は推進できないというくらいになりつつあるのではないかと、全部ではないにしても、かなりそういうふうになってきているのではないかと思います。

これは、皆様が思っいらっしゃることを踏まえて、皆様と協力し合いながら進めていく内容だと思います。観光、防災、それから学童保育、地域包括ケアシステムそのものもそうですし、「女性の会」における取組もそうでした。そういった協働を、協力して推進いただければなと思います。

三つ目は、ちょっと抽象的にはなるのですが、市民と市との関係を、もう一回再確認すべきだというような話に通じる意見が出たと思います。これは広聴の仕組みですね。広報とは違う広聴、いかに意見を聞くのかということに関わる話だったと思います。

これは例えば、不満をどこに言えば良いのか分からない、そういうことによって、意見を言わない状態が続いていくと、自分は関係ないという形になっていって、結局我慢してしまう。ところが、皆様の税金を基にしながら、様々な施策を市に付託、信託しているということからいくと、市と市民との関係をもう一回再考するために、広聴の仕組みをもう一回考えていくという、そういうお話につながるかなと思います。

そういった協働とか広聴に関する話の検討をきっちりしていくという意味は、皆様のための計画ですので、皆様が納得できる計画にしていくということにつながるかなと思います。納得するためには、山田委員がおっしゃったような検証と課題ですね、これまでの検証と課題をきっちりと整理していった上で、どこに問題があったのか、どう展開していくのかということになるのだと思います。うまくまとめていないかもしれないですが、そういう形になるのではないかなと思います。

ということで、今回皆様からいただいた意見は、次の審議会、1月にはなりますけれども、骨子の検討という形になっていきますので、皆様の意見も踏まえて骨子を事務局の方でまとめていただいて、それをご提示していただいて、また次回ご検討いただければと思います。

以上で予定されていた議事は全て終了しましたがけれども、この際、一言だけ何か言っておいた方が良いということがあれば、今お受けしたいと思いますが、どうでしょうか、皆様、何かございましたら。よろしいでしょうか。

長時間にわたり、どうもありがとうございました。

それでは、事務局の方にお返ししたいと思います。よろしく申し上げます。

## 10 閉会

(河口企画部次長兼企画政策課長)

皆様、色々なご意見をいただきましてありがとうございました。

事務局からは特にございませんけれども、第2回の審議会につきましては平成31年の1月頃の開催を予定しております。

詳細につきましては、改めてお知らせをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は長時間にわたり、ご審議を賜りましてありがとうございました。  
以上で終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

問い合わせ先	企画部 企画政策課 電話 052-400-2911 (内線3251)
--------	---------------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

署名委員 福田 一子

署名委員 水野 格廉